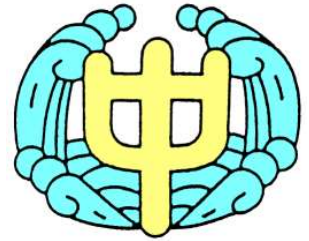


学校と家庭

真理 ・ 感性 ・ 実践
平成29年 8月 29日発行
さいたま市立岸中学校・岸中学校PTA
<http://kishi-j.saitama-city.ed.jp/>



第406号

「夏休みの頑張りを2学期へ！」

校長 星野 貞邦

この夏は、7月は猛暑、8月は雨の日が多く例年とは少し違った天候でしたが、校庭等で日焼けした顔で一生懸命に部活に汗を流している生徒や校舎内で文化祭に向けた活動を熱心に行っている生徒、学習会に参加し意欲的に学習している生徒など頑張っている生徒の姿を多くの場面で見ることができました。

この夏休み中、運動部では県大会が行われ、陸上部の3年生の土居闘矢君と志賀康晟君が関東大会出場、水泳では3年生の足立開君が関東大会出場しました。文化部では、吹奏楽部が埼玉県吹奏楽コンクール県大会で昨年引き続き金賞を受賞し、西関東大会の出場が決まりました。美術部では、市内中学校美術部展で3年生の小林新愛さんが教育長賞、平塚千智さんが優秀賞を受賞しました。また、学習会に積極的に参加し真剣な表情で課題に取り組む生徒の姿を見ることもできました。今年度からこの夏休み勉強の仕方等のきっかけ作りを目的にした学習会をいくつかの教科で実施しました。私（校長）自身も3年生の夏季特別講座（理科）を9日間行いましたが、参加した生徒は、80分間の長い授業にも関わらず、進路に向かって頑張ろうとする気持ちが表れ、集中して熱心に勉強している姿に、教師として久しぶりに教えることの楽しさと充実感を感じました。他にも、この夏休み中、英語の弁論・暗唱大会、さいたま市国際交流事業などの代表として参加した生徒など様々な場面で頑張っていた生徒が多くいます。この夏休みに自分なりに頑張っておこなってきた貴重な経験や自信を今後の生活に生かしてほしいと願っております。

さて、2学期は、文化祭に始まり、生徒会本部役員選挙、新人体育大会、国際交流と多くの行事が続きます。1・2年生は上級生から引き継ぎ、学校の要として、生徒会・委員会活動や部活動の中心となって活躍する時期です。何事にも積極的に参加意識をもって取り組んでほしいと思います。3年生は中学生生活最後の文化祭となります。よい思い出となるようクラスや学年の団結力を大いに発揮してください。この2学期、様々な行事等を通して、生徒一人ひとりが自分の役割を自覚し、お互い協力し合い大きく成長してくれることを期待しています。

話は変わりますが、未だにいじめに関わる問題が新聞等で報道されております。学校としても、生徒に朝礼や学級会等で「絶対にいじめは許されない」ことを繰り返し話してきております。今後も様々な場面で「いじめは、人としてやってはいけない恥ずかしい行いであること」「いじめられていると思ったら、必ず周りの人に相談しよう」「いじめを見たら、勇気をもって周りの大人に知らせよう」「苦しいときは、誰でもいいから相談しよう」を噛み砕いて生徒に伝えて参ります。全国的に程度の差はあれ、いじめは指導しても発生するという実態があります。それでも、繰り返し繰り返し、厳しく指導する必要があります。学校においても、生徒の変化を見逃すことがないように、定期的にいじめに関するアンケート調査等を実施するとともに、生徒のサインをキャッチし、生徒の心に寄り添い、声に耳を傾け、我々大人が常に子どもたちの「絶対の守護者」となるよう全職員で取り組んで参ります。ご家庭におかれましても、子どものサインをキャッチしていただき、顔の表情や行動等で何かおかしい面やお気付きの点がありましたら、早めに学校の担任等にご相談していただきたいと思います。

最後に、保護者、地域の皆様方には、2学期も様々な機会に学校に足を運んでいただき、教育活動や生徒の学ぶ姿、成長ぶりを見ていただき、忌憚ないご意見を賜りますとともに、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。